



第45回洞爺湖マラソン2019 (室蘭地方陸上競技協会、北海道新聞社など主催) が、5月19日、洞爺湖温泉街を発着点に行われました。当日は天候に恵まれ、全国各地から6,033人のランナーが新緑の洞爺湖畔を駆け抜けました。8時30分の小学生と親子の2キを皮切りに、9時30分にはフルマラソン参加者が虻田中学校吹奏楽部のファンファーレの応援を受け、洞爺湖畔のコースをスタート。20分後には10キ、その10分後には5キ参加者が出発しました。

ボランティアスタッフは、町内外の小中学校や高校、酪農学園大学の学生や各種団体企業など約820人。コース整理や給水などに協力し、地域が力を合わせて大会を支えました。

18日には、大会に先立ち前夜祭が行われ、参加者を代表して横田泰久(香川県)さんが力強く選手宣誓を行いました。



写真説明

- 1 緊張感漂うスタート直前のランナー
2・4・5・6・10 新緑の洞爺湖畔を駆け抜けるランナー 3 30℃エイドで渡しているシソジュース 7 ゴール前でランナーを励ますボランティア 8 苦しいランナーを支える応援サポーター 9 ゴールした人にバナナを渡すボランティア

